

緊張？ リラックス？

万福寺 米の大学生、座禅体験

の文化や風習、伝統芸能の作法などを学んでいる。

万福寺を訪れた学生らは、加藤憲七和尚から「座禅は姿勢を正し呼吸を整えるとともに、心の中も整理するものです」と説明を受け、実際に挑戦した。慣れない姿勢に耐えられず顔をゆがめる学生もいて加藤和尚が警策けいさくと呼ばれる木の板で背中をたたたく場面もあり、「ピシヤリ」という乾いた音が堂内に響いていた。

座禅は二度目というジョンナサン・ビドルさん(三)は「普段することがないので疲れたけど、リラックスできた」と話していた。

学生らは、引き続き宇治市内で文楽の鑑賞や華道体験をするなどして二十日に帰国する。

(野田佑介)



張りつめた空気に包まれた堂内で、座禅を体験する米国の大学生ら(宇治市五ヶ庄・万福寺)

日本や京都の文化を学ぶため来日している米カリフォルニア州立大の学生らが十一日、宇治市五ヶ庄の黄檗山万福寺で座禅を体験した。静寂に包まれ張りつめた空気の堂内で、学生らは緊張した

面持ちで座禅に集中していた。

同大が昨年が続いて企画した文化学習プログラムで、参加した学生十六人が今月一日から宇治市内のホームステイ先の家族らと交流しながら日本